

令和4年8月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,528	152,680	152,300	152,484	380	196
2 調定水量	m ³	648,037	3,201,970	3,249,000	3,272,205	△ 47,030	△ 70,235
3 調定料金(税抜)	円	173,564,566	860,484,038	869,000,000	874,735,338	△ 8,515,962	△ 14,251,300
4 口振加入件数	件	25,112	125,488	-	125,697	-	△ 209

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,932	94,429	94,500	92,933	△ 71	1,496
6 調定水量	m ³	398,121	1,955,817	1,957,200	1,977,575	△ 1,383	△ 21,758
7 調定料金(税抜)	円	63,197,686	310,850,739	309,436,000	312,531,921	1,414,739	△ 1,681,182

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,362	-	76,620	△ 1,258
9 給水件数	件	30,349	-	30,314	35
10 開栓処理件数	件	219	1,549	1,384	165
11 閉栓処理件数	件	266	1,360	1,252	108
12 給水工事設計審査	件	44	215	218	△ 3
13 給水工事竣工検査	件	91	362	280	82
14 経年メーター交換	件	235	1,863	1,462	401
15 メーター口径変更	件	0	25	33	△ 8
16 督促状発送数	件	1,400	6,835	6,722	113
17 月末停止件数	件	84	-	84	0

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	43	167	171	△ 4
19 排水設備工事完了検査	件	36	154	130	24

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	199,388,293円	78.93%	204,158,942円	78.79%
21 過年度分	3,772,704円	97.99%	4,599,254円	97.62%
22 計	203,160,997円	-	208,758,196円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	82,342,283円	75.92%	86,714,467円	74.78%
24 過年度分	754,078円	99.04%	850,830円	98.93%
25 計	83,096,361円	-	87,565,297円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	6,278,790円	83.26%	6,683,670円	80.92%
27 過年度分	1,947,200円	11.92%	2,401,300円	10.03%
28 計	8,225,990円	-	9,084,970円	-

登米市水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特記事項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業 ア 収益的収支

当期の給水収益は190,811千円(税込)で、前月期に比べて4,237千円の増、対前年同月比では5,116千円の減となっています。営業収益は191,486千円、営業外収益は事務手数料や雑収益等6,117千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など86,383千円、営業外費用は企業債利息として24,005千円、特別損失は124千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金及び加入金2,958千円の執行となりました。支出は、建設改良費として職員給与費などを含む事務費及び機器整備費3,232千円を執行しました。また、企業債償還金として160,481千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は69,444千円(税込)で、前月期に比べて2,233千円の増、対前年同月比では564千円の減となっています。営業収益は69,444千円、営業外収益は、他会計補助金及び雑収益等408,005千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など84,654千円、営業外費用は企業債利息として38,187千円、特別損失は3月16日に発生した地震に伴う災害復旧費用など66千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、他会計出資金及び受益者負担金・分担金として273,213千円となりました。支出は、建設改良費として災害復旧費や事務費16,968千円、企業債償還金として210,334千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道モニター会議を開催

8月2日(火)に上下水道モニター会議を開催しました。モニター制度は、水道事業について市民の皆さんから広くご意見・ご感想を伺い、事業運営をよりよくするため、登米地方広域水道企業団当時の昭和60年に開始されたものです。令和2年4月に水道事業と下水道事業が組織統合され上下水道部となったのを機に、下水道事業も加えた上下水道モニターとして今年度から新たに開始いたしました。

任期は2年間で、新たに20名の方にモニター委嘱を行い、熊谷市長から委嘱状を交付しました。

会議では、モニターの活動内容や登米市上下水道事業の概要について等の説明を行いました。

次回は10月に保呂羽浄水場等の施設見学を予定しています。



【委嘱状を交付している様子】

(2) 料金等あり方検討委員会が開催されました

第6回登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会を8月29日(月)に開催し、水道料金及び下水道使用料の改定について審議を行いました。委員からは目標経営数値の設定の考え方や改定率の根拠などについての質問や意見を頂きました。

次回は、10月に料金体系案について検討予定としています。



【審議を行っている様子】

令和4年8月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	858,023	4,247,541	4,073,030	4,204,602	174,511	42,939
総配水量	802,504	3,967,076	3,806,570	3,927,683	160,506	39,393
1 有効水量	710,711	3,470,817	3,503,450	3,499,337	△ 32,633	△ 28,520
(1) 有収水量	652,107	3,224,142	3,271,000	3,292,875	△ 46,858	△ 68,733
(2) 無収水量	58,604	246,675	232,450	206,462	14,225	40,213
2 無効水量	91,793	496,259	303,120	428,346	193,139	67,913
(1) 漏水量	91,346	487,894	300,000	426,570	187,894	61,324
(2) その他無効水量	447	8,365	3,120	1,776	5,245	6,589
3 有収率	81.26%	81.27%	85.93%	83.84%	-4.66%	-2.57%

※ 当月期の最大配水量は、2日（金）に記録した【27,477m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	2	20,163	0	0	43,857	31.5%
配給水施設整備事業	42	1,093,210	18	407,793	0	22,203	663,214	39.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 登米市水道事業外部評価委員会を開催

8月24日（水）に配水施設等維持管理業務及び浄水施設等管理運営業務の外部評価を実施しました。外部評価は、包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務内容を適切に評価することを目的として行うもので、今回の委員会では、受託者から令和3年度における委託実施状況について説明を受け、評価を行いました。

委員からは、業務は適切に行われているが、実績としてアピールできる業務については、もっとアピールすべきではないかなどの意見をいただきました。



【外部評価委員会の様子】

2 石越浄水場沈殿池清掃作業実施

8月31日（水）石越浄水場の沈殿池清掃作業を行いました。

この作業は、沈殿池に汚泥が過剰に堆積すると、薬品による凝集沈殿効果の阻害等浄水処理に影響を及ぼすことから定期的に清掃を行うこととしております。

また、同時に沈殿池の内面や可動部の点検も行いました。



【沈殿池内清掃の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	32	184.824
	付属施設	0	0.000
	給水装置	27	30.335
	計	59	215.159

【漏水調査結果：8月】

※参考：漏水量削減効果
（金額換算）

約1,434,456円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 215.159m³/h
215.159m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	307,720	1,509,561	1,372,014	137,547		1処理場
特定環境保全公共下水道	55,554	284,091	278,491	5,600		3処理場
米谷・錦織処理区	11,496	58,112	59,998	△ 1,886		
豊里処理区	32,513	165,557	157,058	8,499		
津山処理区	11,545	60,422	61,435	△ 1,013		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,610	63,273	65,616	△ 2,343		
農業集落排水	103,446	625,724	584,045	41,678		24処理場
迫地区	9,151	50,200	50,471	△ 271		
東和地区	3,035	14,997	16,477	△ 1,479		
中田地区	17,039	135,961	151,227	△ 15,266		
豊里地区	2,077	10,435	10,313	122		
米山地区	51,422	305,032	254,490	50,542		
南方地区	20,723	109,100	101,068	8,032		R4. 4. 1時点
浄化槽（特地・個排）	43,557	214,404	210,357	4,047		2,015基
合計	522,887	2,697,053	2,510,523	186,529		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	532,766	0	484	0	7,713	524,569	1.5%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	342,224	20	140,169	20	19,944	182,111	46.8%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 県道部の舗装補修について

県道の主要地方道古川佐沼線において、下水道本管から汚水ますの取り出しを行っている部分に、沈下している箇所が確認されたことから、通行上の支障や事故などの発生を未然に防止し、車両の安全を確保するため、沈下箇所について舗装補修を実施しました。



【舗装補修状況】

2 佐沼環境浄化センターの水処理施設躯体補強工事に着手

8月期、佐沼環境浄化センターの水処理施設であるオキシデーションディッチの躯体補強工事に着手しました。この工事は、耐震基準が強化された平成9年以前に設計された下水道施設について、耐震診断を行った結果に基づき、耐震性能が不足していると診断された躯体について、耐震補強を講じるもので、令和5年3月の工事完了を予定しています。

○浄化槽整備事業受付状況
（8月末現在）

予定件数	受付件数	残件数
80	49	31